

事務事業名		銀河連邦サンリクオオフナト共和国運営支援事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	相互に理解し、尊重し合う地域社会の実現				事業期間		予算科目			
	施策名	地域間交流の推進						会計	款	項	目
	基本事業名	都市間交流の推進				☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 13 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	02	01	06
根拠法令											
所属	部課名	企画政策部企画調整課				事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・銀河連邦は昭和62年、旧三陸町時代に宇宙航空研究開発機構の研究施設がある5つの市町が、ユーモアとパロディの精神で組織した連邦国家(平成22年に北海道大樹町、平成28年に宮城県角田市が加盟し、7市町で構成)で、共和国間の友好親善と相互発展、宇宙への夢とロマンを育むことを目的に各種交流事業を実施しており、その組織運営を支援するため補助金を交付していた。(平成25年度からは一般会計化され、補助金廃止。) ・業務としては、銀河連邦本部が主催する事業への参画、各共和国及び自国での事業開催に係る企画・運営、また、銀河連邦全体の運営に関する会議への出席等となっている。 ・事業費の内訳としては、児童交流事業や経済交流事業への参加に係る旅費や物産展開催に対応した物産の仕入れ、消耗品費等が主である。 ・平成25年度から銀河連邦サンリクオオフナト共和国及び大船渡市PRキャラクター「おおふなトン」がデビューした。					
	課長名	新沼 徹									
	係名	地域交流係		電話	0192-27-3111						
	担当者	佐藤 章貴		内線	216						
全体計画(※期間限定複数年度のみ)						総投入量(千円)					
						事業費 総投入量 (千円)	国庫支出金				
							都道府県支出金				
							地方債				
							その他				
							一般財源				
							事業費計(A)	0			
人件費	正規職員従事人数										
	延べ業務時間										
	人件費計(B)	0									
	トータルコスト(A)+(B)	0									

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)			
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称		単位	
銀河連邦フォーラムへの参加や構成市町で開催される銀河連邦物産展等へ出展し、東日本大震災の風化防止、当市の観光・物産等のPRに努めた。 また、「おおふなトン」の活動を通して、当市並びに銀河連邦のPR活動に努めた。		ア	事業計画件数	回	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ			
当市夏まつりへの招待事業、第71回国民体育大会マラソン競技会への参加者受け入れ、子ども留学交流事業、当市産業まつり物産展受け入れ、銀河連邦各市町が主催する物産展への出展等。		ウ			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)			
市民		名称			単位
		カ	市の人口	人	
		キ			
		ク			
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)			
各共和国間の交流促進を図る。		名称			単位
		サ	交流事業数	件	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		シ	交流事業参加者数	人	
視野を広げ文化的・経済的活動に生かす。		ス			

(2) 総事業費・指標等の推移

		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)
投入量	事業費	単位						
	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円				1,768	1,456	3,075
	一般財源	千円	2,000	2,000	3,590	2,536	2,445	2,421
	事業費計(A)	千円	2,000	2,000	3,590	4,304	3,901	5,496
	人件費	人	2	2	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
	人件費計(B)	千円	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800
トータルコスト(A)+(B)		千円	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800
⑤活動指標	ア	回	18	21	21	19	21	21
	イ							
	ウ							
⑥対象指標	カ	人	39,376	39,117	38,871	38,712	38,167	38,000
	キ							
	ク							
⑦成果指標	サ	件	14	16	19	18	20	20
	シ	人	284	126	130	120	241	241
	ス							

事務事業ID	1136	事務事業名	銀河連邦サンリクオオブナト共和国運営支援事業
--------	------	-------	------------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
昭和62年11月、旧三陸町時代に、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の研究施設がある5つの市町がユーモアとパロディの精神で連邦国家を組織し、それぞれの共和国が手を取り合い、相互の理解と親善を深めることにより、宇宙平和の一翼を担うとともに、人々の笑顔あふれるユートピアの創造を目指してスタートしたもので、旧三陸町と当市との合併後は、サンリクオオブナト共和国として児童交流や経済交流を実施してきた。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
銀河連邦設立以来、各市町の首長を大統領とし、子ども留学交流や各市町の特産品を販売する物産展の相互開催など、各種事業を通して各市町間の親善を深めてきた。平成19年5月14日には各共和国経済協議会の代表者をもって構成する銀河連邦経済連絡協議会が設立され、民間活力を積極的に活用した経済交流事業を展開することとなった。銀河連邦経済連絡協議会の組織は、各共和国経済協議会代表者をもって構成することとされており、当市においても平成21年3月に銀河連邦サンリクオオブナト共和国経済協議会を設立し、さらなる経済交流の促進に取り組んできた。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
震災前は、大手の市内業者数社から、銀河連邦物産展等への参画申し入れがあった。震災後は、大船渡市観光物産協会への事務局機能移管や物産展出席への業者委託の意見が庁内の一部であるが、復興途上の中で、いずれも直ちに実施するのは困難な状況である。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	銀河連邦交流事業を通じて、銀河連邦各市町間で理解を深めながら友好関係を築いてきたことから政策体系との整合は図られている。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	銀河連邦というくくりの中でさまざまな事業を展開しているが、発端は行政間の交流事業であり、結果として関係6市町の交流促進が図られることから妥当といえる。	
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	銀河連邦交流事業の推進は、市がサンリクオオブナト共和国として行なうものであることから対象として適切である。また、事業の目的が銀河連邦各市町間の友好親善と相互発展であることから意図も適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	経済交流を促進する中で、行政がパイプ役となり民対民の流通経路の開拓に取り組むことで、民間主導の経済交流が積極的に行われ成果の向上につながる。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	銀河連邦交流事業の窓口を失うこととなり、都市間交流の推進が図られない。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	各市町とは銀河連邦というくくりでつながっており、ほかに事業を継続していく類似事業はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	経済交流事業等における民間との協働や民間主催などにより、事業費削減の余地がある。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	経済交流事業等における民間との協働や民間主催などにより、市職員の人件費削減の余地がある。	
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	子ども留学交流に参加する児童の昼食費用等、個人が負担すべき経費は自己負担としている。	

事務事業ID	1136	事務事業名	銀河連邦サンリクオオフナト共和国運営支援事業
--------	------	-------	------------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																																
<table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	銀河連邦フォーラムや子ども留学交流事業への参加及び銀河連邦各市町からの被災者支援受け入れなど、さまざまな交流事業を通して相互理解と友好関係を深めることができた。 また、各市町で開催される銀河連邦物産展等へ出展し、震災の風評被害払拭や震災の風化防止、当市のPR等に努めた。今後、平成26年度から再開された当市の産業まつりでの物産展受け入れ、当共和国PRキャラクターである「おおふなトン」を活用しながら、地域間交流をより一層推進する必要がある。																					
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																																
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																																
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																																
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																																
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																																
<table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☐ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 経済交流事業については、サンリクオオフナト共和国経済協議会を中心に、銀河連邦各市町の民間同士の経済交流につなげられるような事業展開を図るとともに、「銀河連邦」を全国へ向け発信しながら、民間業者の積極的な事業参画を促していく。 子ども交流事業については現在、経費削減のため一事業のみの計画であるが、銀河連邦の設立目的である「相互の発展と宇宙への夢とロマンを育む」という観点から、人的交流及び人材育成は欠かせないものであり、新たな形での交流事業について検討していく。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																														
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																		
		コスト																																
		削減	維持	増加																														
成果	向上		●																															
	維持			×																														
	低下		×	×																														
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																																		
震災発生時からの相模原市はじめ銀河連邦構成市町の多大な支援により、銀河連邦に対する市民の認知度は高まったが、あらゆる機会をとらえて銀河連邦を周知する必要がある。それにより、経済交流における民間業者の積極的な事業参画を促し、さらに銀河連邦として全国へ向けて発信することで、交流人口の増加や地域の活性化が期待できる。																																		

	(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
4 事務事業の2次評価結果	2次評価者 企画政策部企画調整課長	新沼 徹

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている
② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由													
<table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	当市の都市間交流の基軸となる銀河連邦交流事業について、市民への周知を重ねることで関心が高まり、各種交流事業への参加、民間団体等の交流が活発化及び深化するものと考え。 また、当事業への市民及び民間事業者の参画を積極的に図り、事業費の削減に努める必要がある。		
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり													
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり													
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり													
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり													

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																																
<table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☐ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 人的交流について、児童交流のみならず、民間レベルの交流を積極的に支援することで、広範な交流の拡大を促す。 経済交流については、銀河連邦経済連絡協議会及び当共和国の経済協議会と連携しながら、民間事業者や生産者へ積極的に参画を促す必要がある。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																														
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																		
		コスト																																
		削減	維持	増加																														
成果	向上		●																															
	維持			×																														
	低下		×	×																														

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項